

平成 22 年度

# 日本顎咬合学会

THE ACADEMY  
OF CLINICAL  
DENTISTRY

## 認定医教育研修会

(認定医・指導医参加者 10 単位取得)

テーマ

「咀嚼、咬合と全身機能について考える」

### 関東・甲信越支部

開催月日

平成 22 年 9 月 26 日 (日)

開催会場

日本青年館 中ホール

東京都新宿区霞ヶ丘町 7-1

TEL : 03 - 3401 - 0101

開催時刻

12 : 00 ~ 16 : 30

細川隆司 先生 (九州歯科大学 口腔再建リハビリテーション学分野教授)

日本顎咬合学会咬合スコア部会委員

「咬合崩壊に向かう高リスク症例にどう立ち向かうか  
- 咬合スコアの意義と臨床的対応 -」

水口俊介 先生 (東京医科歯科大学 全部床義歯補綴学分野教授)

「咀嚼・咬合と全身機能  
- 社会に、そして患者さんに何を語れるのか -」

参加申込

別紙申込書により下記宛 FAX でお申込みください

FAX.03 - 6691 - 0261 学会事務局

申込期限

平成 22 年 9 月 21 日 (火)

参加費

学会認定医・指導医は無料

それ以外の会員は 2,000 円 (当日入会を済ませた者も含む)

※当日は日本歯科医師会生涯研修登録 IC カードをお持ちください。

主催



特定非営利活動法人

日本顎咬合学会

## テーマ：咀嚼、咬合と全身機能について考える



## 細川隆司

九州歯科大学口腔再建リハビリテーション学分野 教授  
日本顎咬合学会咬合スコア部会委員

## プロフィール

1986年 九州歯科大学歯学部卒業  
1989年 日本学術振興会特別研究員 DC  
1990年 九州歯科大学大学院歯学研究科修了  
1990年 ハーバード大学歯学部研究員  
1991年 九州歯科大学歯学部助手  
1995年 広島大学歯学部助手  
2001年 広島大学歯学部附属病院講師  
2003年 九州歯科大学教授、口腔インプラント科科長

咬合・咀嚼機能の健康維持が全身の健康に大きく寄与していることは、広く認知されている事実である。しかし、口腔の健康維持、とりわけ咬合に関するリスクを抱えている人は、多くの場合目立った自覚症状がなく、職場等の歯科健診においてもほとんど治療勧告がされないため、何も知らずに日常生活を送っていることが多い。そのため、歯根破折など何らかの急性症状が起こってから初めて歯科を受診することになるが、結果として治療介入のタイミングが遅れ、一生涯に渡って

咬合崩壊に向かう高リスク症例にどう立ち向かうか  
—咬合スコアの意義と臨床的対応—

続いて行くと考えられる咬合崩壊のプロセスを食い止めることが困難になる場合が少なくない。口腔、とりわけ咬合にリスクを抱えながら自覚していない巨大な高リスク潜在患者群をどうやって歯科医療機関に受診させるのか、その方法は容易ではない。適切なタイミングで受診さえしてもらえれば、包括的な歯科治療介入を行うことにより咬合・咀嚼機能の健康を少しでも高いレベルで保つことが可能になるはずである。いわゆる漢方では「未病（病気ではないが病気になる状態）」への真剣な取り組みが、国民の健康を担う歯科医療界全体としての極めて重要な課題であると考えられる。

医科では、メタボリックシンドロームという新しい単純な切り口の診断基準を広め、自覚症状のない潜在患者を多数来院させ早期に診断し治療介入することに成功している。また、「メタボ検診」さえも受診しない患者群に対しては、「セルフチェック」という考え方を潜在患者掘り起こしの強力なツールとして、最近急速に普及させようとしている。しかし、残念ながら歯科分野では標準化された「セルフチェックスコア」策定の動きは非常に乏しい。

「咬合スコア」とは、故保母須弥也先生を中心とした日本顎咬合学会咬合スコア部会が開発した「咬み合わせ」を簡便に評価するための「セルフチェックスコア」である。これまでに行われた臨床疫学調査によって、すでにこの「咬合スコア」の信頼性と妥当性が確認されている。「咬合スコア」によって、将来の咬合崩壊等のリスクが高い患者群を歯科医院に受診させ、早期に治療介入することにより口腔の健康レベルを維持し、国民のQOLの維持向上に貢献できる可能性がある。また、結果として歯科医院へ来院する患者増につながり、歯科医療界全体の活性化にもなる。しかし一方で、この「咬合スコア」の意味するところを医療者側が間違っただけで捉え、スコアの結果だけを根拠に（適切な診察・診断なしに）全顎的な咬合治療介入を行うことなどは医療行為として不適切であり認められるものではない。

本講演では、咬合に関するリスク因子について述べさせて頂くとともに、顎咬合学会から大手メディア等に対し既にプレスリリースされている「咬合スコア」について紹介し、その意義と解釈および活用法や来院患者に対する臨床的対応について解説したい。



## 水口俊介

東京医科歯科大学大学院歯医学総合研究科  
全部床義歯補綴学分野 教授

## プロフィール

1983年 東京医科歯科大学歯学部卒業  
1987年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了  
1989年 東京医科歯科大学歯学部高齢者歯科学講座 助手  
2001年 同大学大学院口腔老化制御学分野講師  
日本補綴歯科学会指導医  
2001～2002年 米国ロサンダ大学歯学部  
Visiting Research Professor  
2005年 東京医科歯科大学大学院高齢者歯科学分野助教授  
2006年 同大学大学院全部床義歯補綴学分野助教授  
2008年 同大学大学院全部床義歯補綴学分野教授

## 咀嚼・咬合と全身機能

## —社会に、そして患者さんに何を語れるのか—

平成20年の厚生白書によると2025年には75歳以上高齢者が2167万人、虚弱、要介護高齢者が500万人を突破するという推計が出ております。平成17年の歯科疾患実態調査によると75歳以上の77%は現在歯数20本以下ですから、2025年には残存歯数が増加したとしてもかなりの数の高齢者が歯科的処置を要し、咬合・咀嚼機能を回復させる必要があることが予想されます。そして近年、口腔内の疾患と全身の健康との関係が明らかになってきました。口腔ケアと誤嚥性肺炎、歯周病と血管疾患、糖尿病などが大きく着目を浴びております。また、新しい機器の

導入により脳機能と咬合咀嚼機能の関連が徐々に明らかになってまいりました。PET、fMRI、NIRSなど低侵襲で脳の活動を画像化する技術が活用されております。今回の研修はこれらのことを念頭に置き、高齢者の咬合咀嚼機能を回復させることの重要性を各方面から解説し、先生方の日々の診療において、患者さんに歯科治療の重要性をしっかりと説明できるようになっていただきたいと考えています。

# 平成 22 年度 認定医教育研修会

テーマ：咀嚼、咬合と全身機能について考える

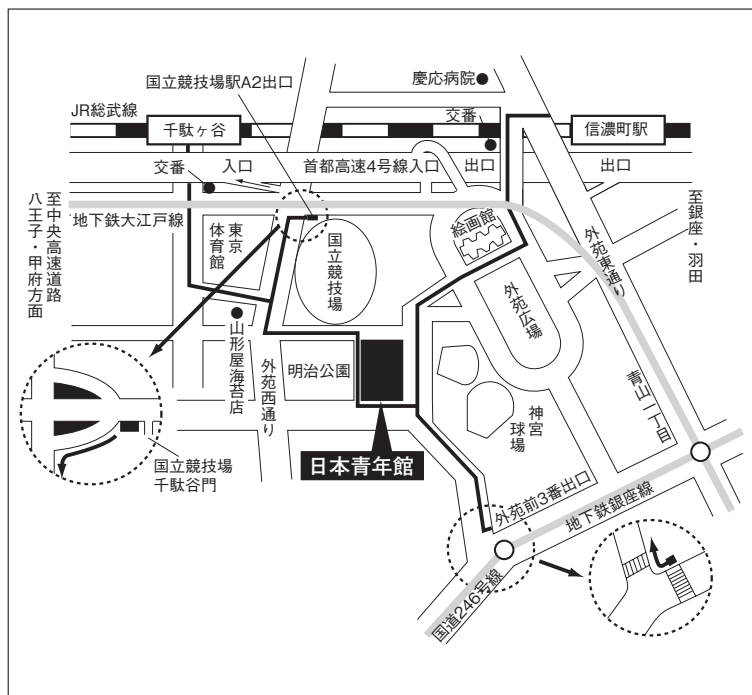
支 部	開催月日・開催時刻	開催地	講 師
北海道	平成 22 年 10 月 17 日 (日) 10:00~15:00	札 幌	細川隆司 先生 鈴木哲也 先生
	札幌国際ビル 8 階 国際ホール 札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1 番地 窓 口 挽地俊哉先生(グランド歯科医院) TEL.011-261-8066 FAX.011-261-8677		
東 北	平成 22 年 10 月 2 日 (土) 13:00~17:20	仙 台	細川隆司 先生 鈴木哲也 先生
	宮城県歯科医師会館 仙台市青葉区国分町1-5-1 TEL.022-222-5960 窓 口 佐藤善徳先生(佐藤デンタルオフィス) TEL.022-264-3133 FAX.022-264-3151		
関 東 甲信越	平成 22 年 9 月 26 日 (日) 12:00~16:30	東 京	細川隆司 先生 水口俊介 先生
	日本青年館 中ホール 東京都新宿区霞ヶ丘町7-1 TEL.03-3401-0101 窓 口 長阪信昌先生(ながさか歯科クリニック) TEL.042-548-4618 お申し込みは学会事務局 FAX.03-6691-0261まで		
中 部	平成 22 年 12 月 4 日 (土) 13:00~17:00	名古屋	細川隆司 先生 鈴木哲也 先生
	名古屋国際会議場 名古屋市熱田区熱田西町1-1 TEL.052-683-7711 窓 口 三輪一雄先生(双峰歯科クリニック) TEL.0562-93-4888 FAX.0562-93-4902		
近 畿 中 国 四 国	平成 23 年 2 月 13 日 (日) 10:00~15:00	大 阪	細川隆司 先生 水口俊介 先生
	大阪国際交流センター 大阪市天王寺区上本町8-2-6 TEL:06-6772-5931 窓 口 有限会社メディア・レフ(担当:山名健介) TEL.079-221-7225 FAX.079-221-7226		
九 州 沖 縄	平成 22 年 8 月 1 日 (日) 9:50~15:00	福 岡	細川隆司 先生 水口俊介 先生
	福岡県歯科医師会館 視聴覚教室 福岡市中央区大名1-12-43 TEL.092-771-3531 窓 口 トーデント九州 TEL.092-433-5558 FAX.092-433-5552		

- ★開催時刻、会場案内図、申込先は別紙をご覧ください。 ★認定医、指導医の参加者は認定10単位が与えられます。
- ★申込み期限、他支部申込み等の照会は各支部の窓口の先生に直接おたずねください。

学会への入会手続きは下記宛お申込みください

学会事務局 TEL. **03-6683-2069** FAX. **03-6691-0261**

# 関東・甲信越支部 日本青年館 中ホール会場案内図



日本青年館 中ホール  
東京都新宿区霞ヶ丘町7-1  
TEL 03-3401-0101

## 〈交通のご案内〉

- JR「信濃町」駅より徒歩9分
- JR「千駄ヶ谷」駅より徒歩10分
- 地下鉄銀座線「外苑前」駅より徒歩7分
- 都営地下鉄大江戸線「国立競技場」A2出口より徒歩7分

## 参加申込書

切り取らずこのまま下記申込先へFAXして下さい（期限注意）

日本顎咬合学会  
関東・甲信越支部御中

申込期限  
9月21日(火)

9月26日(日曜日)の認定研修会に参加申し込み致します。

氏名	ふりがな	連絡先住所・TEL
	会員番号	〒
<input type="checkbox"/> 認定医 <input type="checkbox"/> 指導医 <input type="checkbox"/> 未認定医      (該当を○で囲んでください)		
氏名	ふりがな	連絡先住所・TEL
	会員番号	〒
<input type="checkbox"/> 認定医 <input type="checkbox"/> 指導医 <input type="checkbox"/> 未認定医      (該当を○で囲んでください)		
氏名	ふりがな	連絡先住所・TEL
	会員番号	〒
<input type="checkbox"/> 認定医 <input type="checkbox"/> 指導医 <input type="checkbox"/> 未認定医      (該当を○で囲んでください)		

**FAX 03-6691-0261** 学会事務局